

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	道路課担当課長	森 明彦
都整-12 交通安全施設維持事業	☒ 自治事務	主管課	道路課
	☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針
			道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	安全な交通を確保し、事故防止を図るため。
効果	交通の円滑化、安全性の向上を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・道路ラインの補修等を行い、交通安全防止を図った。

2 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口 177,464人 世 帯 数 80,368世帯 事業の対象者数	177,243人 80,676世帯	人 口 176,869人 世 帯 数 80,928世帯 事業の対象者数	176,869人 80,928世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	決算値(千円)	4,425	当初予算(千円)	4,428	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	4,425	一般財源	4,428	
事業経費運営	人員配置数	0.4	人員配置数	0.4	
	人件費(千円)	3,394	人件費(千円)	3,305	
	総事業費(千円)	7,819	総事業費(千円)	7,733	
	市民1人当りの経費(円)	44	市民1人当りの経費(円)	44	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

3 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい 事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	協 働	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
事業内容の方向性	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直し ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 見直し 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 カラー舗装化等を実施し、交通事故の削減を図るため。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	カラー舗装化等を実施し、交通事故の削減を図る。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	交通事故対策及び交通の円滑化を図るため、交通安全施設の整備は急務であるが、道路幅員等の制約がある中での対応には限界がある。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	現場状況に合わせた、実施可能かつ有効な対策を実施したことにより、交通の円滑化及び事故の抑止を図った。	☐ 解決 ☐ 一部解決 ☒ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	市民からの要望件数が多く、また、要望内容は多岐にわたるため、全ての案件について完了には至っていない。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---